

博士課程後期課程学籍終了者の進路・就職状況の追跡調査結果について

大学院博士課程後期課程を修了した大学院生は、博士課程で培った高度な専門性を活かしながら研究業績を積み上げ自立したキャリアパスを構築するため、大学院キャリアパス形成支援制度全体の制度設計を構築するうえでは、修了後数年経過している卒業生の進路状況を把握する必要があります。そのため、大学院キャリアパス推進室では博士課程後期課程および一貫制博士課程の学籍終了後の進路状況の実態を調査し、今後の大学院キャリアパス支援制度構築の基礎データとして活用するため、博士課程後期課程学籍終了者を対象に進路・就職状況の追跡調査を行いました。追跡調査に関し、以下のとおり、調査結果を報告します。

1. アンケート実施状況

(1) 実施期間

2013年11月7日(木)～2013年度11月25日(月)

(2) 実施の方法

研究指導教員に対して学籍終了者の進路状況の調査を実施

(3) 質問項目

①進路先 ②進路先 ③所属 ④職業 ⑤業種 ⑥雇用形態

(4) 調査回答受付状況

対象者：2008年度～2012年度に学籍が終了した(除籍者除く)博士課程後期課程および一貫制博士課程学生 543名

【図表1】

	2008	2009	2010	2011	2012	総計	対象者	判明率
法学研究科	1	1	0	2	2	6	15	40.0%
経済学研究科	0	0	0	1	1	2	9	22.2%
経営学研究科	4	2	2	4	6	18	31	58.0%
社会学研究科	3	3	1	3	4	14	37	37.8%
国際関係研究科	1	2	1	4	2	10	22	45.4%
政策科学研究科	2	3	2	5	6	18	35	51.4%
文学研究科	7	7	8	12	12	46	99	46.4%
理工学研究科	18	13	21	17	13	82	165	49.6%
先端総合学術研究科	10	6	6	10	9	41	111	36.9%
テクノロジー・マネジメント研究科	0	1	0	1	3	5	19	26.3%
総計	46	38	41	59	58	242	543	44.5%

- ・ 全体回答率は44.5%であり、学籍終了年度や研究科毎による大きな偏りは見られませんでした。

2. アンケート回答結果

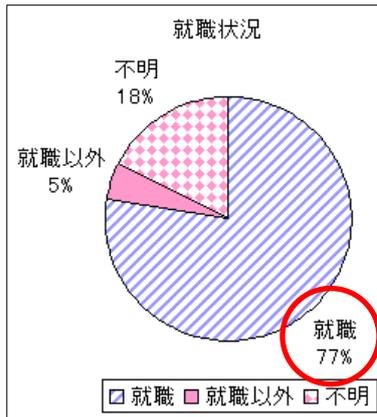
[表の見方]

(1) 進路就職状況

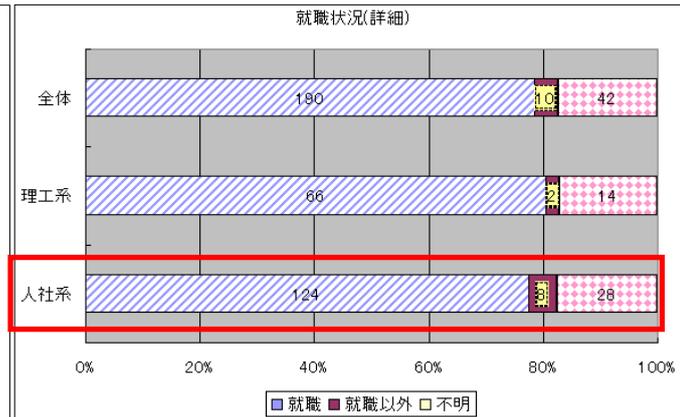
【図表 2：2013 年 11 月時点の進路就職状況】

	就職	就職以外	不明	総計
人社系	124	8	28	160
理工系	66	2	14	82
全体	190	10	42	242

【図表 3】



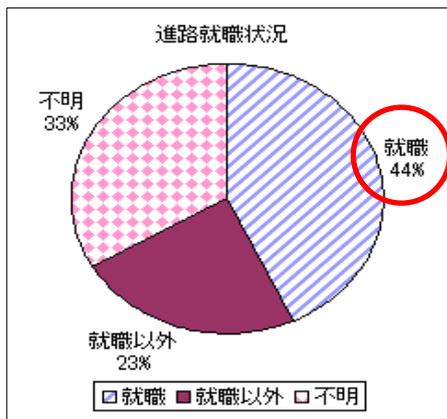
【図表 4】



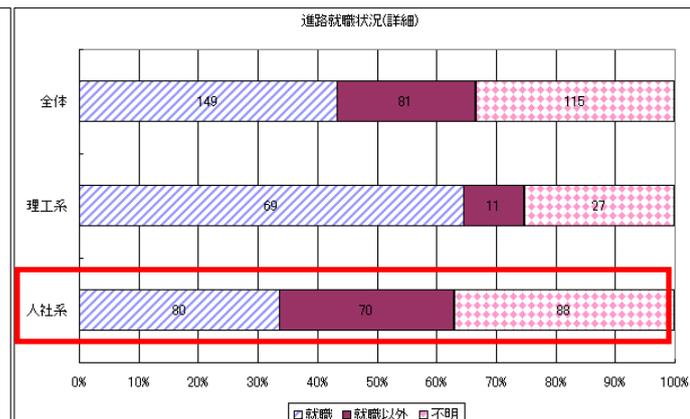
【図表 5：学籍終了時の進路就職状況】※(2010 年度～2012 年度進路調査アンケート参照)

	就職	就職以外	不明	総計
人社系	80	70	88	238
理工系	69	11	27	107
全体	149	81	115	345

【図表 6】



【図表 7】



※博士課程後期課程、一貫制博士課程の進路調査は 2010 年度より実施。

【講評】

- ・ 2013 年 11 月時点の就職率は全体で約 77%であった(図表 3)。分野別で比較すると人社系 77%、理工系 80%であり分野による偏りは見られませんでした(図表 4)。
- ・ 学籍終了時と 2013 年 11 月時点の就職率を比較すると、44%から 77%にあがっている。特に、人社系においては 33%から 77%に比率が 2 倍以上高くなっています(図表 4、図表 6)。

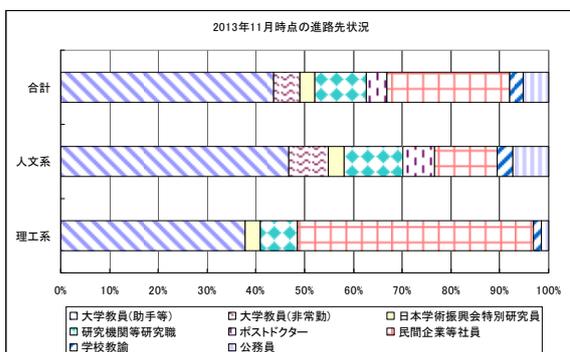
(2) 進路先状況

【図表 8 : 2013 年 11 月時点の進路先状況】

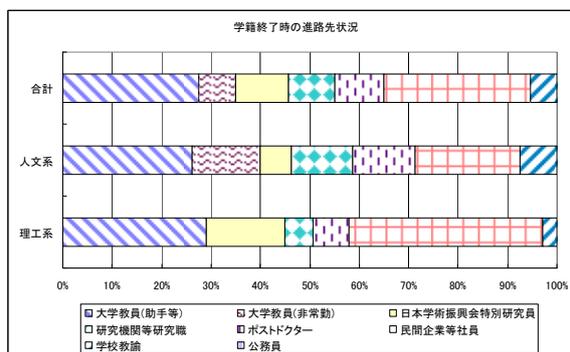
進路	人文系	理工系	計
大学教員(助手等)	58	25	83
大学教員(非常勤)	10	0	10
日本学術振興会特別研究員	4	2	6
研究機関等研究職	15	5	20
ポストドクター	8	0	8
民間企業等社員	16	32	48
学校教諭	4	1	5
公務員	9	1	10
計	124	66	190

※「大学教員(助手等)」: 准教授、助手、講師等(任期付含む)

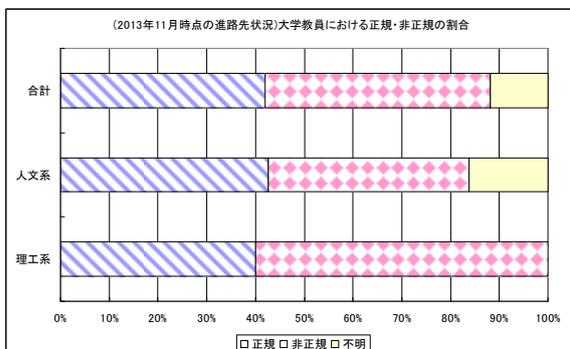
【図表 9】



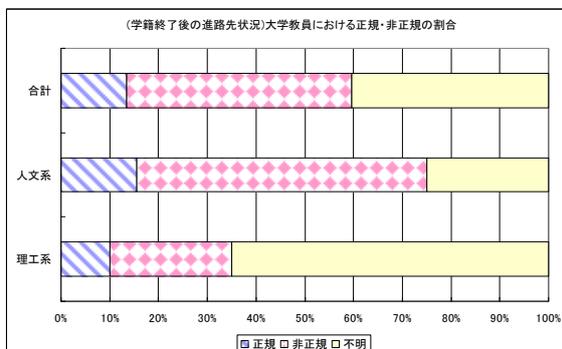
【図表 10】



【図表 11】



【図表 12】



【講評】

- ・ 進路先状況について、2013 年 11 月時点の進路先においては人社系の約 50%が「大学教員(助教等)」、理工系の約 50%が「民間企業等社員」、約 35%が「大学教員(助教等)」でした(図表 9)。学籍終了時の進路先と比較すると、人社系、理工系共に「大学教員(助教等)」の比率が上がっています(図表 10)。
- ・ 大学教員における正規・非正規の比率について、2013 年 11 月時点の進路先においては人社系、理工系共に約 40%が正規雇用であった(図表 11)。学籍終了時と比較すると正規雇用の割合が約 4 倍に上がっています(図表 12)。

(3) 就職以外の状況

【2013年11月時点の進路先状況】

進路	人文系	理工系	計
学業専念	1	0	1
研究生	1	2	3
主婦	4	0	4
無職	2	0	2
計	8	2	10

(4) 学籍終了時と2013年11月時点の進路就職状況の変化

①進路就職状況の変化

※2013年11月進路調査回答者かつ学籍終了時に進路調査を実施している者158名対象

【図表13】

		2010年度 学籍終了者			2011年度 学籍終了者			2012年度 学籍終了者			2010年度 - 2012年度 学籍終了者		
		学籍終了時	2013年11月	増減	学籍終了時	2013年11月	増減	学籍終了時	2013年11月	増減	学籍終了時	2013年11月	増減
人 社 系	就職	10	18	+8	17	35	+18	17	33	+16	44	86	+42
	就職 以外	7	0	-7	7	3	-4	14	2	-12	28	5	-23
	不明	3	2	-1	18	4	-14	14	10	-4	35	16	-19
	計	20	20	0	42	42	0	45	45	0	107	107	0
理 工 系	就職	13	17	+4	12	15	+3	9	10	+1	34	42	+8
	就職 以外	3	2	-1	3	0	-3	2	0	-2	8	2	-6
	不明	5	2	-3	2	2	0	2	3	+1	9	7	-2
	計	21	21	0	17	17	0	13	13	0	41	41	0
総計		41	41	0	59	59	0	58	58	0	158	158	0

【講評】

- 学籍終了時点と2013年11月時点の「就職」状況を比較すると、人文系では+42名、理工系では+8名「就職」が決定しています。学籍終了時では「研修生」「就職活動継続」「学位取得準備」等の就職できていなかった学生の就職が決定していることがわかります。

②進路就職先の状況変化について

「就職以外」→「就職」

【図表 14】

就職変化	人社系	理工系	総計
学位取得準備→ポストドクター	2		2
学位取得準備→学校教員	1		1
学位取得準備→ <u>大学教員(助手等)</u>	1	1	2
学位取得準備→ <u>大学教員(非常勤)</u>	2		2
研究活動継続→ <u>大学教員(助手等)</u>	1		1
研究生→研究機関等研究職	1		1
研究生→ <u>大学教員(助手等)</u>	4		4
研究生→ <u>日本学術振興会特別研究員</u>	1		1
研究生→民間企業等社員	1	1	2
就職活動継続→ <u>大学教員(助手等)</u>	4	2	6
就職活動継続→ <u>大学教員(非常勤)</u>	1		1
就職活動継続→ <u>民間企業等社員</u>	1	1	2
総計	20	5	25

【講評】

- ・学籍終了時には就職できなく、「学位取得準備」「研究生」「就職活動継続」であった学生 25 名のうち 16 名が 13 年 11 月時点において大学教員(助手等、非常勤)に就職しています。

「就職」→「就職」

【図表 15】

進路の変化	人社系	理工系	総計
ポストドクター→ポストドクター	3		3
ポストドクター→研究機関等研究職	1	1	2
ポストドクター→公務員	1		1
ポストドクター→ <u>大学教員(助手等)</u>	1	3	4
学校教員→学校教員	1	1	2
学校教員→ <u>大学教員(助手等)</u>	3		3
研究機関等研究職→研究機関等研究職	4		4
研究機関等研究職→ <u>大学教員(助手等)</u>	2	3	5
研究機関等研究職→民間企業等社員		1	1
大学教員(助手等)→研究機関等研究職		1	1
大学教員(助手等)→ <u>大学教員(助手等)</u>	13	7	20
大学教員(非常勤)→研究機関等研究職	1		1
大学教員(非常勤)→ <u>大学教員(助手等)</u>	2		2
大学教員(非常勤)→ <u>大学教員(非常勤)</u>	2		2
日本学術振興会特別研究員→ <u>大学教員(助手等)</u>	1	1	2
日本学術振興会特別研究員→日本学術振興会特別		2	2
日本学術振興会特別研究員→民間企業等社員		3	3
民間企業等社員→研究機関等研究職	1		1
民間企業等社員→ <u>大学教員(助手等)</u>	1		1
民間企業等社員→民間企業等社員	6	10	16
総計	43	33	76

【講評】

- ・学籍終了時では大学教員以外に就職した 50 名のうち 15 名が、2013 年 11 月時点では大学教員(助手等、非常勤)に就職しています。